

事業所名		つなぐ				支援プログラム (参考様式)		作成日	令和7 年	3 月	10 日
法人 (事業所) 理念		わたしたちはすべての人の幸福のために地域福祉をお推進する役割を担います。									
支援方針		障がいのある子どもが障がいや特性、発達段階に応じた環境で支援や活動を提供し、一人ひとりが尊重される場所であること、子どもたちが自尊感情を育てながらのびのび安心して過ごすことのできる居場所づくりをすすめていきます。 子ども期にしか味わえない、もしくは子ども期にこそ必要な遊びや体験、地域との交流を積極的に実践に組み入れ、地域で豊かに生きていく力を育める環境を創り出します。									
営業時間		9 時	30 分	17 時	30 分	送迎実施の有無		あり	なし		
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	<p><b>ねらい</b>：健康状態の維持・改善、生活習慣や生活リズムの形成、基本的な生活スキルの獲得</p> <p><b>支援内容</b>：身辺自立に向けて自分の身の回りの事を自分でできるように取り組みます。お手伝いが必要な部分は職員と一緒に取り組みます。生活環境をお子さまにわかりやすく調整することで、生活の中で様々な遊びを通して学びが促進されるよう環境を整えます。また、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化していきます。</p> <p><b>どのように</b>：職員からのモデル提示、手順書を観て、環境をわかりやすく整える、 unnecessaryな情報は見えないように。</p>									
	運動・感覚	<p><b>ねらい</b>：姿勢と運動・動作の基本的技能の向上、身体の移動能力の向上、保有する感覚の活用、感覚の特性への対応</p> <p><b>支援内容</b>：日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図ります。自力での身体移動や歩行、歩行器や車椅子による移動など、日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行います。感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の支援を行います。</p> <p><b>どのように</b>：遊びや集団活動（運動活動、ゲーム活動、音楽活動、制作活動、戸外活動等）を通して。</p>									
	認知・行動	<p><b>ねらい</b>：知覚から行動への認知過程の発達、感覚の活用や認知機能の発達、認知や行動の手掛かりとなる概念の形成</p> <p><b>支援内容</b>：視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、これらの感覚から情報が適切に取得され、認知機能の発達を促す支援を行います。環境や状況を把握・理解できるようにするとともに、これらの情報を的確な判断や行動につなげることができるよう支援を行います。</p> <p><b>どのように</b>：オリジナルの教材を通して学習。つなぐでの過ごす時間の中で環境をわかりやすく構造化。</p>									
	言語コミュニケーション	<p><b>ねらい</b>：コミュニケーションの基礎的能力の向上、言語の受容と表出、言語の形成と活用、コミュニケーション手段の選択と活用、読み書き能力の向上</p> <p><b>支援内容</b>：障害の種別や程度、興味関心等に応じて、言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振り、各種の機器等を用いて意思のやりとりが行えるようにするなど、コミュニケーションに必要な基礎的な能力を身につけることができるよう支援します。</p> <p><b>どのように</b>：つなぐでの過ごす時間の中でコミュニケーションが発生しやすくなる環境を作っていく。PECS（絵カード交換式コミュニケーションシステム）の活用、ICT機器（iPad等）の活用。</p>									
	人間関係社会性	<p><b>ねらい</b>：アタッチメント（愛着）の形成と安定、遊びを通じた社会性の発達、</p> <p><b>支援内容</b>：こどもが基本的な信頼感を持つことができるように、環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援を行います。遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性や対人関係の芽生えを支援します。集団に参加するための手順やルールを理解できるよう支援します。</p> <p><b>どのように</b>：周囲にこどもがいても無関心である一人遊びの状態から並行遊びを行い、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援します。集団に参加するための手順やルールを理解できるようお子様な合わせた様々なツールをご用意します。</p>									
家族支援		ご家族への個別懇談を半年に1度開催し、日々の支援の説明を映像や支援環境の説明を交えながら丁寧に説明し、保護者への支援内容の理解を促進していきます。個別懇談は両親参加型を目指し、父親の子どもへの理解を促進していくはたらきかけをしていきます。				移行支援		移行支援を必要とするお子さまには適宜ご家族と相談しながら支援方法を検討させていただきます。中高生を対象に学校の長期休みや土曜稼働日に当法人障害福祉サービス（ジョブ、セルフ、デイセンター、コラボ）の日中活動を体験できるような活動を取り入れていきます。			
地域支援・地域連携		ボランティアが活動やイベントの中で活躍する場をつくります。毎月土曜日稼働の日はボランティアの受け入れを行っています。市内で開催されているイベントの情報収集を行い、積極的に参加していきます。				職員の質の向上		事業所内研修（権利擁護・虐待防止・身体拘束適正化・非常災害対策・感染症BCP）を実施しています。事業所外研修（強度行動障害支援者養成研修・行動援護従事者研修・権利擁護・虐待防止・保育士の資質向上）へ派遣しています。			
主な行事等		利用している子どものきょうだいも一人の子どもとしてその子らしく育っていけるよう、長期休みや土曜日イベントの時間を活用して利用している子どもたちと楽しく参加できるイベントを企画していきます。きょうだい参加イベントを夏祭りに開催します。 主な年間行事：家族交流レク夏祭り、クリスマス会、節分レク、ひな祭りレク、長期休み（夏・冬・春休み）の外出企画等									